

## 育 Me 科 学習指導案「質問する」

## ○ねらい

円滑なコミュニケーションには、受信者の視点から確認と質問が重要になることを理解し、上手に確認と質問をするためのポイントを使うことができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p><b>1 あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の学習内容「しなやかマインドセット」をペアで確認する。</li> </ul> <p><b>2 学習内容の理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一方向のコミュニケーションによる簡単な活動を行う。</li> </ul> <p>ペアになり発信者と受信者で役割を分け、発信者には様々な図形が書かれたメモを渡す。(パワポ資料)発信者はメモの内容を受信者に伝え、白紙に書きとる。受信者は一切質問しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信者が何をできるとうまく情報をやりとりできるか全体で考える。</li> </ul> <p>①確認 ②質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師がモデリングする。</li> </ul> <p>A: ○○先生、今度の会議資料を忘れず作っといてね。  B: すみません。「今度の」とおっしゃられたのですが再来週の会議ですよ。(確認)  いつまでに作ると良いですか。(質問)  A: 今週中にお願ひできる？  B: 承知しました。会議資料ですが、<u>どんな内容を盛り込むと良いですか。</u>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデリングを分析し、確認と質問のポイントを理解する。</li> </ul> <p>①質問の対象 ②理由 ③要望</p> <p><b>3 本時の課題</b></p> <p>相手と考えを共有するために的確に確認と質問をしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言葉で話させる。</li> <li>発信者からの一方的な説明だけで受信者は書きとる。一方的な傾聴で発信者と情報を共有する難しさを実感し、受信者による確認や質問の必要性を見出させる。</li> <li>生徒の考えから、①②が出てくればよい。</li> <li>「運動会の提案」等具体的な場面を簡単に説明しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わかりやすい伝え方」「非言語的コミュニケーション」を用いて、相手に理解してもらえよう丁寧に話させる。</li> <li>発信者は「わかりやすく伝える」を用いて簡潔に説明できるとよい。</li> <li>「要望」には話し方に関するもの、話した内容に関するものがあることに留意する。(パワポ資料)さらに詳しく聞き出したい要望については質問になる。</li> </ul>
展開	<p><b>4 グループ活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4人1グループで活動する。(A:発信者 B:受信者 CD:評価者)</li> <li>用意された場面をAがグループに伝える。全て A から会話が始まり、Bはそれに対してポイントに沿って的確に確認と質問を行う。CDはBが的確に確認と質問ができたか評価する。</li> </ul> <p><b>5 全体交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動と同じ場面を数人の生徒が実演する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価者はAが伝えたかったことをBがしっかりと理解できる会話になっているか、そのための確認と質問になっているか評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間的な余裕があるかないかでも対応がかわるであろうことを理解させる。</li> </ul>
まとめ	<p><b>6 ふりかえり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容と普段の生活における自分の姿を比較する。</li> <li>振り返りを記入する。</li> </ul> <p>【出口での生徒の意識】</p> <p>普段の生活では、相手が話したことに対して深く意識を向けず聴いていたから、情報のすれ違いがあった。まずは本当に相手が伝えたかったことを理解しているか確認することを大切にしたい。</p>		